

令和そして未来へ



発行
福岡県立小倉西高等学校
津苑会
小倉北区下町津5丁目7-1
TEL 093-581-9387



創立120周年記念式典の様子（平成30年11月10日）



津苑会会長
塩田 孝一
会長あいさつ

わが母校小倉西高等学校は、昨年創立120周年を迎え、盛大に祝賀記念事業を行いました。歴史ある母校の節目の年に実行委員長として、また同窓会長として立ちあえたことを大変光栄なことと感謝しております。

津苑会会員の皆様におかれましては、120周年の記念事業に多大なるご支援ご協力をいただき、心より御礼申し上げます。お陰様で記念事業は、昨年11月の記念式典を含み滞りなく終了しましたことを改めてご報告申し上げます。（中庭の整備事業、パスカルプロジェクトの東京派遣研修支援、視覚教材の寄贈、同窓会名簿の作成等）

さて、明治・大正・昭和・平成と4つの元号と共に歩み来た母校ですが12年目の今年元号も新たに「令和」となり、次の未来へ向けての第一歩を踏み出しました。令和には「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ。夢や希望に向かつて活躍する時代であってほしい」という意味があるそうです。私は本校の校訓「強く・正しく・美しく」に誠に近い意味であると感じています。明るい令和の時代に母校がさらに発展することを願ってやみません。そして同窓会である津苑会も新しい時代を母校の発展と共に歩みます元気に活動していかなければならないと気持ちを引き締まる思いです。



福岡県立小倉西高等学校
校長 **田北 裕昭**
名誉会長
あいさつ

小倉西高等学校同窓会「津苑会」令和元年度総会が盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

きました。誠にめでたうございます。心から祝福申し上げますとともに、益々お元気でいつまでも津苑会総会でお会いできますことを楽しみにしています。

総会当番期高校47期生の皆さん、早い時期より総会の準備にあたっていただき、本当にお疲れ様でした。そして、素晴らしい総会を演出していただきありがとうございます。

また田北校長をはじめ、学校側の津苑会活動に対するご理解とご協力に心より感謝いたします。

最後になりますが、私は今年の総会をもちまして、津苑会の会長を退任させていただきますこととなりました。任期中は多くの皆様にご支援いただき、衷心より厚く御礼申し上げます。

本日ご出席の皆様、また津苑会会員の皆様のご健勝を心より祈念しご挨拶とさせていただきます。

輝かしい歴史と伝統を誇る小倉西高等学校に本年4月の人事異動により、児玉幸子校長の後任として参りました田北裕昭と申します。本校の校長を務めさせていただき重責に、身の引き締まる思いでいつぱいです。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

平素より、塩田津苑会会長をはじめ、役員・会員の皆様におかれましては、母校小倉西高等学校に對しまして、物心両面から多大なるご支援を賜り、生徒及び教職員一同を代表して、心より感謝申し上げます。

また、本校は昨年度創立120周年行事を成功裏に終え、これまでの120年の伝統を未来に繋ぐ第一歩を踏み出しているところです。これもひとえに、津苑会の皆様のご理解とご協力のおかげであり、ここに重ねてお礼を申し上げます。

さて、今年3月に卒業した71期生の進路実績ですが、お陰様をもちまして素晴らしい成果をあげることができました。国立大学への合格は、71名（卒業生の37%）が現役合格を果たしています。主な進学先は、九州大学（1名）、熊本大学（2名）、九州工業大学（7名）、福岡教育大学（5名）、北九州市立大学（24名）、山口大学（5名）、大分大学（5名）等です。また、私立大学へも、西南学院大学（8名）、福岡大学（32名）、立命館大学（4名）等、多くの生徒が、自らの進路目標を達成することができました。

これも、生徒たちの諦めない心とたゆまぬ努力、そしてそれを熱心に支えてくださった先生方のおかげであると思います。

また、部活動についても、

加入率が90%を超え、各部が輝かしい実績をあげています。体育部では、水泳部と卓球部が九州大会への出場を果たし、弓道部、剣道部、水泳部、卓球部、バドミントン部、ハンドボール部が県大会出場をしています。また、文化部では、写真部が全国大会推薦を受け、吹奏楽部が九州アンサンブルコンテストで銀賞を受賞し、写真部、書道部、吹奏楽部、アート部、放送部が高文祭（県大会）に出場を果たしています。生徒それぞれが部活動を通して技術だけでなく、集団に寄与する態度や社会性を身に付け、人間として大きな成長を果たしています。

生徒一人ひとりは、それぞれ大きな可能性をもっています。その可能性を見出し伸ばすのが教育の力であると考えております。これからの新しい時代を生きる生徒が、広い視野をもち高い志をもって、「逞しく生き抜く力」の育成に向けて、生徒の自主性を尊重し活気ある学校づくりに努める所存です。

最後になりましたが、津苑会の皆様には、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



明治時代のピアノ

第36代 校長 児玉 幸子

(在任) 平成29年4月1日～平成31年3月31日

それは、1通の手紙から始まった。昨年(平成30年)の7月のことである。浜松市のとある会社の社長から学校宛てに手紙が届いた。その会社は、印刷物の企画・制作の傍らで、地元のヤマハ株式会社から委託を受け、ヤマハピアノについて調査をしている会社である。

ヤマハピアノの販売記録から、「明治44年平型1号小倉高等女学校(福岡県小倉市)」の記載を見ることができ、1911(明治44)年にヤマハ製グランドピアノ第1号型を、本校の前身の小倉高等女学校が購入したと思われるが、「現在、本校にこのピアノが現存しているか、または、それに纏わる資料や写真が残っているか。」というお問い合わせであった。

折しも創立120周年を迎える年にあたって、本校の歴史を紐解く機会と思い、校史資料室に通い調べてみた。残念ながら、現在の本校にはヤマハのグランドピアノ第1号形の現物は存在しておらず、学校の備品台帳を調べてみたが、戦前の記録は大空襲の戦火で焼失し、どの時点で処分等がなされたのか不明であった。しかしながら、小倉高等女学校沿革略史や小倉高女時代の校友会誌「小倉の錦」等にピアノに関わる写真や文献などが僅かであったが、見つかった。

～明治44年にピアノを購入したいきさつ～

本校は、明治31年、小倉高等女学校として小倉高等小学校の校舎の一部を借りて開校し、翌32年に砂津に寄宿舎つきの新校舎が落成したが、明治39年5月24日の火事によりその校舎が全焼した。この大火事で校長室や職員室にあった重要書類も全て焼失してしまい、初代杉山貞校長の手記には「最も遺憾なりとす。」と記されている。本校の創立当時の資料が現存していないのもこのためである。火災の後、数年かけて新校舎が建築され、明治44年6月15日(開校記念日)に創立13周年と火災後の新校舎落成式を盛大に挙行している。おそらく、その際に、ヤマハグランドピアノを購入したと思われる。

～「小倉のにしき(錦)」より～

大正2年11月に校友会誌「小倉のにしき(錦)」第1巻が発行されている。学校の記録や生徒の思いを綴った「小倉のにしき」はその後戦前まで毎年発行され、それが戦後の小倉西高校となって「津苑」として生まれ変わり、現在まで脈々と受け継がれている。その記念すべき第1巻に、「遅刻」という題である女生徒が以下のような作文を寄稿している。

昨夜あまりおそくなりましたので、今朝は思はず寝坊をいたしました。

其の為、御飯もそこそこに、母様の出して下さる傘も引きたくなるやうにして、後をも見ずに学校へかけだしました。校門をくぐると、常の賑はしさに引きかえて、しんと静まりかえり、只音楽室からもれる、ピアノの音のみ聞えます。足音を忍ばせて、おそるおそる教室のドアを開けると、皆様が示し合わせたように、此方を向く。其の恥しさと云ったらありません。常にはやさしき先生の御顔も、何だか今日はエンマ様のやうに見え、いつもは笑顔で迎えて下さる御友達も、苦笑していらっしやる様に思はれて、此の一時間は先生の御話も耳に入りません。あ々。これからきっと遅刻なんか致しますまいと思いました。



小倉の錦 第1巻

女生徒の姿が彷彿とされる愛らしい作文である。明治44年にグランドピアノを購入したとすれば、2年後の大正2年に書かれたこの作文のピアノの音は、おそらくヤマハのピアノであると推察される。

さらに、大正5年に発行された「小倉のにしき」第11巻では、ピアノとバイオリンの演奏の様子(下左)が、また、大正8年の「小倉のにしき(錦)」第14巻には、グランドピアノを囲んでのバイオリンの演奏の写真(下中)が掲載されていた。左端の先生らしき男性と3人の女生徒がバイオリンを弾き、グランドピアノを女生徒が弾いている。左にはアップライトのピアノも見える。少し時代は離れるが、昭和11年の「小倉のにしき」第30巻では、振袖姿の女学生が、ピアノの伴奏で独唱をしている写真(下右)もあった。音楽会と題した写真であるが、華やかな学校生活が伺える。



明治44年のピアノに関する資料は以上である。校舎の火災や戦争の空襲で多くの貴重な物が焼失してしまったのは、残念であるが、明治から昭和にかけて、ヤマハのピアノが学校生活に文化の香と豊かさを与えてくれた事はしっかりと感じ取ることができる。

後日、この結果を返信したところ、丁寧なお返事をいただいた。それによると、ヤマハ(株)は明治35年からグランドピアノの製造を始めているが、本校が購入したとされる明治44年頃は、おそらく製造から100台目辺りに製造された1台で、当時の販売価格は3000円前後。現在価格に換算すると5～6000万円に相当するという。「全国の学校が西洋音楽教育に力を入れ、ピアノの導入を図ってまいります。アップライトピアノに留まるケースが多い中、高価なグランドピアノの導入は関係各位のご尽力、御校への期待の表れと思えます。」と手紙の中にあっただが、まさに先人の女子教育への意気込みを垣間見た気がした。

思いがけない1通の手紙で、明治・大正・昭和にタイムスリップした楽しい時間を過ごしたが、これも丁寧に教育活動の記録を残していたおかげである。毎年の記録をしっかりと紀要にまとめることの大切さを改めて認識させられた次第である。

支部だより

東京支部



東京支部長
五味 秀人 (高校21期)

改元の節目となる記念すべき「令和元年度津苑会総会」が、盛會裡に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。当番期(高校47期)各位の尽力に深甚なる敬意を表します。

東京支部は、趣向を凝らした毎年の総会・卒業年次毎の同期会に留まらず、企画委員会が主催する春の観桜会・秋の親睦会および年一回のゴルフコンペ、渉外委員会が主催する謝志会(北九州地区の同窓会交流会)・東京福岡県人会への参加等々、日頃より積極的な活動を展開しています。

本年度の総会は、高校32期の精鋭が担当し、来たる6月29日に国立能楽堂を借り切って開催...恒例の議案審議・懇親会に加え、古典芸能「狂言」の鑑賞が企画されています。

今回は、東京支部の活動をご理解いただき広く参加を募るため、母校創立120周年を記念して発行された会員名簿を活用し、学舎を共にした東北・北海道在住の皆様、初めて案内状を送り届けました。

東京支部の存在を認識いただき、同窓の誼みから折に触れ活動に参加くださることを待望しています。これを契機に、機関紙(津苑会報・津苑の集い)を、高欄いただく手筈も整えました。

今後とも、東京支部の活動にご支援ご叱正を賜りますようお願いして、ご挨拶にかえさせていただきます。



京王フローラルガーデンでBBQ



新宿御苑でお花見



謝志会納涼祭

関西支部



関西支部長
高橋 輝久 (高校18期)

関西支部を代表してごあいさつさせていただきます。昨年は西高創立120周年記念式典に出席させていただきました。素晴らしい式典で感動いたしました。

平成から令和に変わった今年も私事ですが6回目の年男です。去年は過去・古くは大正12年の関東大震災、24年前の阪神淡路大震災、同じ年の地下鉄サリン事件と明るい話題がありませんでした。

令和にかわった今年こそはいい年にしたいですね。さて今年の関西支部総会の会場は昨年と同じく「ホテルグランピア大阪」で10月26日(土)12:00で開会予定です。JR大阪駅隣接の好立地で、今年初めてお越しただけの方でも迷うことはありません。



福岡支部



福岡支部長
三村 明生 (高校18期)

昨年は小倉西高校の前身である小倉高等女学校が開校されて以来120年を迎え盛大な記念式典が開催され、我々卒業生にとっても誇りある記念すべき年となりました。今年も更に次の10年を見据えた新たな西高の未来を実現する

第一歩の年になります。どんな西高の未来が待っているのか楽しみです。さて昨年は高校30期の皆様のお力添えを頂いて「ホテルレオパレス博多」で支部総会を開催しました。台風接近のさなか、一時は開催も危ぶまれる厳しい状況でしたが欠席者もなく、参加者120名を超える盛大な総会となりました。

後輩ともに楽しいひと時を過ごしました。お世話いただいた高校30期の河内幹事様以下同期の皆様、本当にお世話になり有難うございました。今年も会場を「八仙閣本店」に変え、高校31期の宗幹事を中心に趣向を凝らし、準備いたします。博多駅新幹線口から徒歩6分程の会場で13時30分受付開始、14時開会の予定です。



昨年のフラダンス

2019年度 津苑会事務局だより

1) 寄付・寄贈(平成30年6月～令和元年5月)

- ①平成30年度総会当番期(高校46期)から総会当日津苑会への寄付と事務用品の寄贈がありました。寄付につきましては、総会当日当番期実行委員長から会長へ目録を贈呈しました。
 - ②平成30年度総会当番期がスライドルーベの販売をおこない、学校の部活動の応援として寄贈しました。(平成30年8月)
 - ③平成30年度米寿(高女47期)及び喜寿(高校11期)の皆さまから総会終了後に寄贈がありました。
 - ④高女47期会から津苑会へ寄付がありました。
- 以上の卒業生の方々からの寄付寄贈につきまして、お礼申し上げます。

2) 120周年の記念事業が終了しました

創立120周年記念事業は、平成30年11月10日開催されました学校主催の記念式典で全て終了しました。この間、多くの卒業生、各支部の各事業ではご協力やご参加をいただき、誠にありがとうございました。ここに、津苑会報の書面にてお礼申し上げます。

3) 津苑会事務局のe-mailアドレスが変わります

これまで使用しましたアドレスinfo@shinen.jpが令和元年6月9日以降、新アドレスhonbu@shinenkai.comに変更となります。本年11月までは、新アドレス、旧アドレス両方とも使用できますが、ご注意ください。

4) 感謝状贈呈(平成30年度津苑総会)

江藤 功様(高校5期:元津苑会会長、元同友会会長)に、永年津苑会の発展に尽力された功績に対し、津苑総会日に感謝状を贈呈させていただきました。

江藤 功様は、津苑会副会長及び会長として36年の長きにわたり同窓会組織の安定的な運営と礎を築かれました。その間、会長として、体育館(サンアリーナ小倉)建設支援、学校創立90周年事業として念願の同窓会館(津苑会館)建設、創立100周年記念事業などに尽力され、小倉西高校同窓会の発展寄与に大きく貢献していただきました。

また、同窓会組織とは別に、卒業生で構成される異業種交流、情報交換などを目的として、創設された津苑同友会の初代会長を務められ、同友会の発展に大きく寄与されました。

本校が創立120周年を迎えるにあたり平成30年度津苑会総会において、同窓会として江藤 功様にその功勞に対しまして感謝の意を伝え、感謝状を贈呈させていただきました。

◆津苑会賞◆

平成31年2月28日日本校体育館にて、平成30年度津苑会賞の授与式が行われました。

本年度卒業生(高校71期)から、3年3組の白土大翔(しらつち ひろと)さんが受賞されました。今後のご活躍を期待したいと思います。

【推薦事由】

白土さんは、学習活動や生活態度において他の生徒の模範となり、強い責任感と正義感で高校生活を過ごしました。その間、部活動では剣道部に所属し、学校行事では体育委員長や学年代表としてリーダーシップを発揮しました。

学力も優秀で、卒業後は、市内の大学に進学し、勉学に励み、将来は社会に貢献できる人材を目指すとのこと。



高21期会より津苑会へご寄贈をいただきました。抗菌レザー調スリッパ「津苑会」名入れ100足

活躍してます 卒業生



魂を揺さぶる 音色を奏でろ!

津軽三味線奏者
高校51期 **椿 正範**さん

プロフィール
1981年生まれ。北九州市小倉北区出身。
第7回津軽三味線全国大会日本一。
海外15ヵ国公演開催。
市川海老蔵自主公演ABKAI出演や、
橋幸夫、杉良太郎、吉幾三、細川たかし
等々の伴奏務める。
その他、全国の舞台、テレビ、ラジオにて
活躍中。

第51期生の椿正範(本名:平松範保)と申します。私は、小倉西高がある到津に生まれて、育ちました。現在、日本の伝統楽器である、津軽三味線奏者として活動しています。

私は高校受験時、第一志望が小倉西高校でした。どうしても入りたくて中学生の時に両親に塾に行かせてもらい、一生懸命受験勉強しました。そして、西高に合格した時は、高校生ながら生意気に人生で一番喜んだと記憶しております。

しかしながら西高三年間は、あまり良い生徒とはいえず。遅刻したり、授業中に居眠りしたりと、先生方にたくさん迷惑かけたと記憶しています。この場をお借りして謝罪いたします。そんな中、芸術選択授業で書道の横田無縫先生に出会い、色々なことを書道を通じて学びました。また、書道部に入り、巨大な筆で巨大な字を書



横田無縫 折々の書展にて 横田先生と

くという貴重な経験もさせていただきました。先生とたくさん会話もさせていただき、楽しい学生生活を送ることができました。後日談ですが、横田先生には生活態度のことなどで、私をたくさんフォローしていただきました。横田先生には大変感謝しております!!今でも所々に先生の教えを

思い出します。もちろん、現在も親しくさせていただいております。素晴らしい先生に出会えたことは、人生の中でかけがえのない財産だと思っています。昨年は横田無縫先生の個展がウエル戸畑で盛大に開催され、先生の作品の前で演奏させていただきました。先生は涙を流して喜んでくださいました。ご縁を作っていたいただいた西高に感謝です。

私と津軽三味線との出会いは、祖母が民謡の三味線を弾いていたということもあり、10歳より始めました。三味線をはじめて一年程経った頃、テレビで津軽三味線を観ました。心がゆさぶられ「これをやりたい!」と決めたのを思い出します。その後小倉に先生がいらっしゃる事がわかり、先生に付きました。それからの学生時代は、三味線を弾かない日はありませんでした。毎日毎日弾き続け、西高在学中に、津軽三味線の道で人生を歩みたいと決心しました。

小倉の津軽三味線の先生に紹介していただき、高校卒業と同時に上京し、津軽三味線界において、第一線で活躍されている師匠に内弟子として入門しました。師匠家族とともに生活をし、芸を磨き二年間修行の生活を送りました。毎年津軽三味線全国大会が、東京の日比谷公会堂で開催されており(現在は浅草公会堂で開催)、23歳の時に、全国大会で日本一になりました。その時人生で一番喜んだはずの高校受験合格よりも数倍喜びました(笑)。

現在は千葉県松戸市に在住し、関東を拠点に活動しています。全国各地への演奏、海外公演、テレビ、ラジオ番組出演、自主コンサート企画開催、海外からのお客様向けの演奏、門下生の指導、門下生の発表会企画開催、等々。目下の課題は、娘(3歳の娘がいます)へ三味線をどうやって教えるか(笑)。

たくさんの皆さんに支えられ、現在38歳、三味線を手にして28年。プロを目指す19歳の内弟子も取り、家族と共に生活をして育成し、この仕事を楽しんでおります。



娘2歳の初舞台。親子3人で。

今後ますますのご活躍を心よりお祈りいたします

津苑同友会だより

～平成30年度の活動～

●ゴルフコンペ

平成30年5月25日(金)
九州ゴルフ倶楽部にて開催
20名の参加で楽しく交流をしました。
今年度は9月に開催予定です。

●暑気払い&当番期お疲れさま会 / 青年部主催

平成30年8月2日(木)
焼肉酒家 牛さくら 京町本店にて開催
38名の参加で平成30年度の総会当番期の皆さんを労い、会員同士の懇親を深めました。

●同友会総会

平成30年11月13日(火)
ホテル クラウンパレス小倉にて開催
参加者78名。株式会社ブラッツ 代表取締役会長 福山明利氏(高校29期)による「脱サラから上場企業へ」の講演も行われました。懇親会では高校47期の皆さんが津苑会総会のPRを行いました。



●湯布院合宿 / 青年部主催

平成30年10月20日(土)・21日(日)
株式会社フジコー 保養所 秀江苑にて開催
津苑同友会会長 山本厚生氏(高校12期)のご厚意により、利用させていただきました。
湯布院の街を散策、美味しい食事に舌鼓をうち、金丸勝利氏(高校36期)による特別セミナーが行われ、有意義な2日間でした。
初の試みで、参加者6名と少人数でしたが、今年度も9月に開催を予定しております。



津苑同友会では皆さまのご入会をお待ちしております!

津苑同友会は会員の異業種交流を行うことにより、縦のつながりを発展させ、会員相互の親睦・研鑽を図り、地域経済と母校の発展に寄与することを目的として活動しています。
<連絡先> 津苑会事務局 TEL: 093-581-9387

小倉高女新年会が 開催されました!!

今年も小倉高女新年会が1月12日(土)午前12時からステーションホテル小倉で開催されました。

本校は1898年6月に小倉高等女学校として開校、昨年6月で創立120年を迎えました。その歴史の中で高女の卒業生の皆さんも高齢となりましたが、今年も全国から卒業生の皆さんが出席され、津苑会役員と併せて84名で開催されました。

来賓として津苑会から塩田会長、児玉小倉西高校長(当時)の出席で盛大に行われました。最高齢の出席は高女38期(98歳)の卒業生でした。

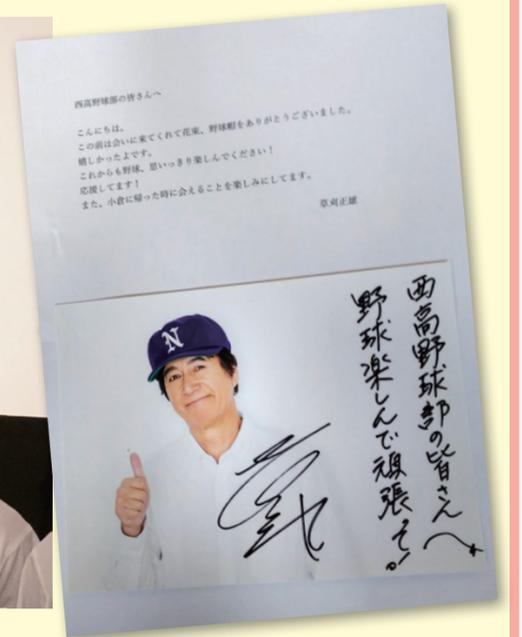
冒頭この1年で亡くなられた物故者への黙祷を行い、塩田会長、児玉校長のごあいさつ、そして懇親会が始まりました。会途中の余興では、最高齢の山口様(高女38期)の日本舞踊が舞われ、続いて、小笠原様(高女49期)と同期生方がレクリエーションダンスを楽しく踊り、会場の出席者も参加し、賑わいました。続いて恒例の抽選会があり、最後に全員で小倉高女校歌を唄い、閉会となりました。

次回開催は来年1月の予定です。多くの小倉高女先輩のご出席をお待ちしています。



TOPICS トピックス

草刈正雄さんへ花束贈呈



平成31年3月29日(金)小倉昭和館で草刈正雄さん主演の映画上映に伴う舞台挨拶が行われました。その際、西高時代軟式野球部で全国大会へ出場経験がある草刈さんへ、現役の小倉西高野球部員より花束贈呈がありました。

また、花束と一緒に西高野球部の帽子も贈りました。元気いっぱい的高校生が駆けつけたということもあり、草刈さんは嬉しそうに、そして快く受け取ってくださいました。

花束贈呈後、草刈さんは部員ひとりひとりと握手を交わし、優しく声をかけていただきました。現在NHKの朝の連続ドラマ小説「なつぞら」でも好演の草刈正雄さんです。野球部のみなさんには、とても良い思い出になったのではないのでしょうか。

そして！

先日、花束のお礼が、草刈さんから野球部のみなさんあてに届きました。なんと、贈った帽子を被ってくださった写真付きでした。

昨年は創立120周年のお祝いメッセージも贈ってくださいましたし、このご縁が続いて、是非ぜひ西高にもご来校いただけると同窓生としても嬉しい限りです。

昨年、草刈正雄さんと津苑会の窓口となりご配慮いただきました北九州市企画調整局地方創生推進室、今回の花束贈呈にご協力いただいた昭和館樋口智巳館長様へ心より感謝し、厚く御礼申し上げます。

『小倉西高OBゴルフ会』からのお知らせ～

知っていましたか？OBゴルフ会があるのを！

OBゴルフ会は、平成16(2004)年9月に発足しました。今年で16年目を迎えます。過去、参加者が40名を超えた時もありましたが、諸事情(特に加齢)により参加者が少なくなっています。

多くの卒業生が参加されることを期待しています。好きなゴルフを楽しみながら、先輩・同期・後輩との親睦を深めていくのが目的です。

- ◆参加資格(特例あり) ゴルフを愛する60歳以上の卒業生(女性も歓迎！)
- ◆開催月 3月・7月・9月・11月の年4回
- ◆開催場所 各月の金曜日(原則第3金曜日) 九州ゴルフ倶楽部



今回のゴルフ会は7月19日(金)9時スタートです。

参加してみようと思う方は下記にご連絡ください。

世話人： 高校21期 藤島 隆志 携帯電話： 090-8225-9238

旧正門が修復されました

2018年春、西高の旧正門(最近は東門とよばれています)の門扉がきれいに塗装されました。西高カラーです。新しい校名板は、在校生や若い卒業生にも歴史のある学校であることを知ってほしいと「福岡県立小倉西高等学校 旧正門」とされました。

ちなみに現在の正門は、旧電車通りに平行な北側の門となっています。

私たち卒業生にとって思い出深い正門の修復にご尽力くださった児玉前校長先生・木原前事務長先生に感謝いたします。



家政科閉科記念碑建立(平成30年8月)

本校全日制家政科(昭和24年4月に家庭科としてスタート)は昭和25年6月に文部省研究本校全日制家政科(昭和24年4月に家庭科としてスタート)は昭和25年6月に文部省研究指定学校となり、平成5年3月31日までの期間、多くの卒業生を輩出しました。

当時、閉科にあたり、今仁文彦校長と生徒により記念の植樹を行いました。

平成30年8月創立120周年記念事業として、現在正面校舎の左駐車場前にある植樹の側に、説明文を新たに加えて記念碑を建立しました。



～制服の選択肢が増えました～

平成31年4月から着用できるようになりました！



サマーニットベスト 女子スラックス

退任のご挨拶

高校29期 白木 周一



母校福岡県立小倉西高等学校には、平成28年4月から3年間教頭として大変お世話になりました。私が赴任した折、既に平成30年度の創立120周年記念式典に向けて準備が進められており、改めて責任の重さを実感いたしました。

在任中、津苑会には中庭の整備、ICT機器の導入など多大なご支援を賜りました。心より感謝申し上げます。特に、ICT機材の配備につきましては、津苑会にご寄贈いただいたおかげで、全クラスの生徒が授業で活用できるようになりました。

「大学との連携」と「生徒東京派遣研修」では、同窓生の皆様方やそれを支援してくださった方々の一方ならぬ御厚情をいただきました。記念式典では多くのご来賓の前に、生徒の発表を行うことができました。生徒にとって、記憶に残る貴重な経験となりました。私は、記念式典を終えて、津苑会は学校を支える大きな柱の一つであるということを実感いたしました。私自身も卒業生として、これから先できる限り津苑会に協力して参ります。最後に、津苑会の皆様方へ今後益々のご活躍とご健康を心より祈念しご挨拶とさせていただきます。

当番期実行委員長挨拶



高校47期生 中本 康弘

本日、令和元年の津苑会総会が、盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。米寿を迎えられた高女48期・高校1期、喜寿を迎えられた高校12期の先輩方に、心よりお祝い申し上げます。また、ご来賓の皆様をはじめ、本日、総会にご出席賜りました皆様、47期を代表して厚く御礼申し上げます。

私たち高校47期は平成4年4月に入学し、平成7年3月に卒業しました。家政科が廃止された2年目の年で、在学中には西鉄路面電車(砂津1黒崎駅前)の廃止や天皇・皇后陛下のご成婚、阪神・淡路大震災の発生がありました。

昨年の総会にお手伝いとして初めて参加した際、出席者が約1,000名を超える総会の規模の大きさに、また、事前準備も含めた46期の先輩方の素晴らしい行動力に「我々は当番期として、来年の総会を無事に成功させることができるのだろうか」と不安を覚えました。その後、当番期を務めるにあたり、卒業以来初の同窓会を開催しました。友人との再会はもちろん、在学中には関わりがなかった同期生とも仲良くなり、総会に向けての協力依頼を快諾してもらったことで、縁・絆の大切さを、改めて実感しました。それから約1年、仲間と共に協力して準備を進めて、無事に本日を迎えることができました。

新元号令和元年に開催される本日の総会... 私達が心を込めておもてなしさせていただきます。今年度の総会のテーマは、「おかえりなさいあの頃に」としてともに次代へ」としました。総会にご出席いただき、在学中の思い出を懐かしんでいただき(母校に帰る)おかけりなさい、「新元号となった新しい時代(次代)へ共に進んでいきましょう」と、津苑会を通して過去から未来へ繋がる意味を込めています。

本日の津苑会総会開催に際しまして、校長先生をはじめとする学校関係者の皆様や津苑会役員をはじめとするたくさんの方々、応援に駆けつけてくださった先輩の皆様にも多大なるご支援とご協力を賜りましたことを、当番期を代表して心より御礼申し上げます。最後に、小倉西高等学校ならびに津苑会の今後の益々の発展と、本日ここにお集まりの皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、当番期実行委員長の挨拶といたします。